

地方創生を図るには、地域資源である農林水産業の競争力強化と観光振興によるしごとづくりが必要

## 北海道内商工会議所における主な取り組み

### 稚内商工会議所

#### <「北のカナリア」のロケ地ツーリズム>

映画を素材に、映像と日常の生業や食を絡めた着地型観光商品を開発。ロケ地礼文島「北のカナリアパーク」での模擬授業やロケで使用されたお店などを巡るほか、礼文町の香深港からのシャトルバスの運行、商店街への回遊性生み出す「クーポン事業」などを実施。



### 美唄商工会議所

#### <美唄産米粉を活用した商品開発>

米粉を配合したカステラや昔炭鉱で働く人々のスタミナ源だった美唄やきとりをイメージし、米粉を使用した鳥モツカレーを開発。



### 札幌商工会議所

#### <おもてなし向上を通じた観光振興>

市内観光関連事業者のおもてなし向上を目的に、語学や各国の文化・習慣等を学ぶ研修事業を実施。平成27年には、外国語を話せる店員に「スマイル・サービスバッジ」(英・中・韓)の配布をスタートした。このほか、国際観光都市「札幌」の魅力発信と、知名度アップ、観光客の増大を目的とした「札幌観光大使」制度や、恋に仕事に遊びに積極的に「美食」に興味のあるアラサー女性を主人公にした漫画を製作し、札幌に実在する飲食店や観光施設をストーリー上に登場させ、観光のプロモーションを展開している。



### 小樽商工会議所

#### <しりべしの食材活用>

後志(しりべし)産の未利用果実を使った果実酒を皮切りに、「小樽美人」のブランド化を推進し、スイーツ等の継続的な商品開発を進める。また、小樽発の日帰りバスツアー「しりべしアグリツーリズム」の開発も進めている。



### 恵庭商工会議所

#### <えびすかぼちゃでスイーツ開発>

恵庭市の代表的な特産物、えびすかぼちゃを使用したペーストを開発。かぼちゃプリン、スイートポテト、かりんとう饅頭といったスイーツを次々に生み出す。



### 名寄商工会議所

#### <名寄産の食材で商品開発>

名寄産ひまわり種を100%使用しコレステロール・ゼロの健康食用油、名寄産こめ粉を使用した和チーズケーキなどを開発し、名寄ブランドを推進。



### 紋別商工会議所

#### <オホーツクの恵みを活用>

紋別港の生産高の5割を占めるほたてに着目し、干し貝柱の煮汁を使用したレトルトご飯や化学調味料を不使用の海の幸のレトルト食品を開発。



### 網走商工会議所

#### <網走産イチゴを活用した商品開発>

他地域と収穫時期の違ういちごを活用し、商品開発に取り組み、イチゴの生産者組合を設立。



### 美幌商工会議所

#### <豚醬まるまんな、アスパラスープ>

地元高校生が規格外の地元野菜を餌に飼育した豚から日本初となる醤油を開発。平成24年からの販売数は、約14,000本にのぼる。現在では、市内の飲食店等でこの豚肉醤油を活用したオリジナル商品の開発が進められている。



### 釧路商工会議所

#### <現地での人材育成と釧路産品のPR>

ベトナムの水産加工流通の衛生・品質管理の人材育成を同国ダナンで実施。窒素水や海水減菌水など、釧路独自の技術やノウハウの提供を通じて、将来的に、現地に近代的な流通基盤を整備し、釧路産水産加工品の輸出や生産拠点としての可能性を探る。また、この事業を通じて、現地での釧路産水産物のプロモーションを進めている。



### 帯広商工会議所

#### <フードバレーとかち>

十勝・帯広を持つ農業技術や経験を活用し、タイとマレーシアで食の安全安心の地域ブランドや高付加価値化による地域振興策の普及を進めている。現地でのセミナーの開催や展示会への出展等のほか、現地からの研修生受け入れや現地企業との交流を促進。こうした取り組みにより、マレーシア企業と共同でハラル認証の大福製造を進めている企業も出ている。

### 富良野商工会議所

#### <富良野の農畜産物を活用>

富良野産のタマネギをうどんの生地に練り込んだスティック菓子「たまねぎチップス」、飲む果実酢などを開発。食の発信基地「フラノ・マルシェ」の新商品として、販売している。



## 地域資源を活用したしごとづくり

◆新商品・サービス開発、販路開拓、後継者育成、技術の伝承などに独自の視点からユニークな取り組みを推進。

### <地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト>

◆全国市場をターゲットに、地域資源を活用した新たな特産品開発、観光商品開発、その販路開拓を専門家派遣、展示会、商談会等の実施により総合的に支援。

平成18～27年度実績(全国展開プロジェクト)  
全国310商工会議所、907のプロジェクトを実施

## 観光振興による地域の賑わい創出

◆全国514商工会議所に観光連絡担当を設置。商工会議所のネットワークを活用し、情報共有・交流をはじめ広域観光連携を強力に推進。

◆都道府県内商工会議所の意見交換会開催、広域での観光情報の共同発信、観光ルート開発等に着手。

514商工会議所に観光連絡担当を設置